

ヴォリュームアキュライザーの活用(19)

—アンプの交換とその音質—

1. 始めに

前報(18)までメインシステムの FAL C90EXW の駆動は Langevin 6V6pp アンプでしたが、アンプのヴォリュームに VRA-7 を適用した結果が、アンプの音質にどのようなかわるかを調べるために、駆動アンプを Rogers CadetIII に替えてみました。

2. ヴォリュームアキュライザーVRA-7 の試聴方法

メインシステムの FAL C90EXW の駆動は、もともと、しなの音蔵オリジナル 300B シングルでしたが、修理のために Langevin 6V6pp アンプに替えています。しかし、片チャンネルのアンプがハムを引くこともあり、また、アンプのヴォリュームに VRA-7 を適用した結果が、アンプを替えて、アンプの音質にどのようなかわるかを調べることにしました。

候補の Rogers CadetIII は、EMI DLS259 駆動において、ヴォリュームアキュライザーの導入(9)での報告のとおり、VRA-7 を適用した結果で非常に良い結果を得ていますので、メインシステムに使ったらどうかと考えました。

Rogers CadetIII の VRA-7 はいったん外していましたが、Langevin 6V6pp アンプのものを外してここに付け替え、TruPhase からライン入力し、FAL C90EXW へのスピーカーケーブルを接続します。

音源は、ヴォリュームアキュライザーの導入(2)と同じアナログ音源です。

Deutsche Grammophon 483-6927/6928/6929

J.S.Bach Sonatas & Partitas

Nathan Milstein

ドイツグラモフォン MG9551

ベートーヴェン 三つのピアノソナタ (選帝侯のソナタ)

ゲザ・アンダ (ピアノ)

LONDON KLJC-9180/9184 (RTI/キングレコード)

リヒャルト・ワーグナー ワルキューレ全曲

ゲオルグ・ショルティ指揮ウイーンフィル

Angel (東芝 EMI) AA 9117・C

ゲオルグ・フドリッヒ・ヘンデル メサイア

オットー・クレンペラー指揮フィルハーモニア

3. ヴォリュームアキュライザーの試聴結果

まず、Rogers CadetIIIのVRA-7なしで聴いておき、ヴォリュームにVRA-7を貼って試聴します。

さらに、Rogers CadetIIIの電源ケーブルは直出しですので、USBダンパーの導入(14)および(15)の結果を踏まえて、電源を採っている中村製作所のタップの電源ケーブル差し込み口にUSBダンパーを適用してみました。

上記の処置のおおまかな印象ですが、Langevin 6V6pp から Rogers CadetIIIに替えると、TruPhaseにVRA-7が適用されていることもあって、Rogers CadetIIIが、少し肌理が粗い程度の印象で音色的に大きな変化はありません。さらにRogers CadetIIIにVRA-7を貼りますと、Langevin 6V6ppに非常に似た音質になります。

Langevin 6V6ppはウェスタンの流れを汲む業務用であり、Rogers CadetIIIは英国のホームユースのアンプであり、回路も真空管も違い、これまでそれぞれ固有の音があると思っていましたので、意外な結果となりました。つまりアンプの個性に基づく音と思っていたことが、アンプのヴォリュームの個性に由来する音ということになりかねません。

さらに、Rogers CadetIIIの電源を採っている中村製作所のタップの電源ケーブル差し込み口にUSBダンパーを適用すると、音色的には変わらず、より緻密で音楽的表現力が向上してきました。

この状態での各音源の印象は次のとおりです。

Sonatas & Partitasは、ミルシュテインのヴァイオリンが浸透力のある音で、ボウイングの様がリアルです。

選帝侯のソナタは、美音でありながら打鍵も力強く、余韻も豊かに響きます。

ワルキューレは、ソプラノやメゾソプラノの声に張りがあり、オーケストラの総奏の迫力が伝わってきます。

メサイアは、弦は艶やかに、シュワルツコップの声には張りがあり、バスは力強く、合唱の迫力を通奏低音が明瞭に下支えしてくれています。

結果として、アンプは Langevin 6V6ppでもRogers CadetIIIでも良いということになりました。

4. まとめ

VRA-7を適用すれば、アンプを替えても、音色的に大きく変わることなく、音楽的表現力は維持されることが分りました。また、直出し電源ケーブルのアンプでは、電源タップへのUSBダンパーの適用が有益です。

以上